

所要時間 59分

問 移住者向け住宅リフォーム助成の検討は

答 今後の課題と考えます

定住移住の促進を

問 定住移住促進には多古台開発に頼るだけでなく、現行の住宅取得奨励金に加え、移住者向けに空き家を含めた中古住宅の紹介やリフォーム助成などの検討が必要では。

都市計画課長

空き家に関しては、業者に調査を委託しており、実態を把握した上で施策を検討します。現行のリフォーム助成は居住している方が対象で、移住者向けの補助制度は今後の課題と考えます。

問

空き家の放置で周辺住民は防犯上の不安を相持っています。空き家の相談窓口はありますか。空き家の有効活用として、補助率2分の1の空き家対策総合支援事業を検討してほしい。

都市計画課長

空き家の相談は都市計画課が窓口となっています。補助金については空き家の実態を把握した上で補助を受ける要件等を勉強していきたいと考えます。

問

都心にある「ふるさと帰郷支援センター」は年間5万円の特産品や移住に関する情報が発信できる場所ですので、利用を検討しています。



菅澤 環 議員

企画空港政策課長

「ふるさと帰郷支援センター」にある千葉県のブースで町の情報を提供しています。

問

地方創生事業を進めるため、町の情報発信や情報収集に関して、都内在住の若者など外部人材の登用を検討しては。

企画空港政策課長

創生事業を進める上で外部の人材、意見は必要ですので、その活用を今後も検討していきます。

問

地方創生事業は各市町村で内容も違い、温度差もあるようですが、若い世代の定住促進を含め、10年後の町のためにも力を入れるべきでは。

町長

総合的に行政が進めることであり、その趣旨に沿って地方創生の努力はしています。

高齢者支援施策の拡充を

問 今後増加する高齢世帯への見守り活動、要支援者の介護

保健福祉課長

高齢者の交通問題については、市内全体の問題であり、公共交通全体の問題ととらえています。宅配や配食、移動販売のサービスについては町としての対応は難しく、情報の紹介やネットワーク作りなど努力していきたい。

所要時間 49分

問 圏央道の側道整備を最優先事業としては

答 実現に向け国、県に要請しています

芝鉄利用者駐車場の今後は

問 契約期限が迫っている芝山鉄道利用者駐車場の今後については。

企画空港政策課長

1日平均1000台の利用があり、無くなると利用者に不便をかけるので、新たな場所を検討中です。周辺には民間駐車場もあるので、いつまでも行政がやるのではなく、期限を切った形で運営し、今後芝山鉄道協議会で直接運営か民間委託かを検討していきたい。

空港機能強化と道路整備

問 今回の空港用地計画では、圏央道を境に西側を空港用地としています。一方、圏央道の計画で分断される西側の道路では付け替えや陸橋、トンネル等が計画されていますが、町の考えは。



町道染井間倉線と国境道路

町長

圏央道整備事業においては一鍛田線、染井間倉線、国境道路をはじめ約34路線が空港用地に取り込まれます。町としては路線等の集約も踏まえ、より機能的な利便性の高い道路の補償を求めます。国境道路の付け替えは圏央道の東側へ新設道路の整備を、染井間倉線の

問

圏央道東側への側道整備は町の空港東側戦略構想の中で基本的な道路であり、早めにインフラを整備しておくことが企業誘致に必要です。この機会に町の最優先事業として、総力を挙げて関係機関に強く訴え、進めるべきと思います。

町長

圏央道から空港への入り口は重要であり、国に要請しています。県土整備部にも全体の道路の見直し、配置について、周辺の県議とともに具体的な路線の検討を要請し、協議中です。県の高規格道路を空港と平行して通す計画は実現に向け要請しています。

シャトルバスの運行計画は

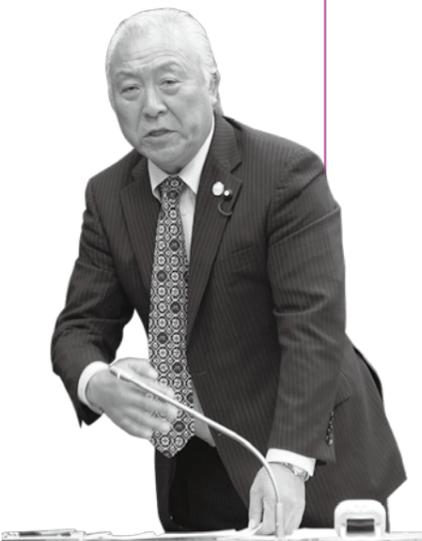
問 路線拡充を希望する声もあるシャトルバスの今後の運行方針、計画は。

町長

地方創生加速化交付金を受け、今年度9月1日から1日20往復運行しています。開始3カ月での利用者数は、前年同期比22.6%増です。今後は多古工業団地を経由することによる利用者増など、持続可能な運行を目的に、企業との連携を検討していく考えです。

空港問題では建設的な議論を

今、町は大変重要な時期にあり、空港問題は多古町始まって以来の一大事です。この空港問題だけは政局の具や政争の具にしてはなりません。そのようなことがあれば、国、県、NAAの信頼を失うだけでなく、何より町民からの信頼を失うこととなります。町は誠実に向かい合い、示せる情報は示し、議会も真摯な気持ちで建設的な議論を進めていかなければならないと思います。



鶯澤 茂 議員